

Revolution

～革命を起こそう～

大阪府立千里青雲高等学校 9期生担任団

学年通信 No. 12

2016年9月29日

「今すべきこと」と「今しかできないこと」

先日、秋桜祭がありました。私は、今年度4月に千里青雲高校に転勤してきて、この秋桜祭を初めて体験しました。普段から勉強や部活動等、毎日を忙しく過ごしている皆さんが、それぞれの都合をつけて時間を合わせ、一つのものを作り上げることは決して簡単なことではありません。最初はなかなか形にならず、「ほんまに大丈夫なのだろうか」と、内心すごく心配していました。しかし、なかなか企画が具体化せず悩んでも、決して無責任に投げ出さず放課後ずっと考えてくれていた文化委員や、それをサポートするかのよう頑張ってくれていた生徒の姿が見られました。文化祭が近づくと、それぞれが今すべきことは何かを考え、私の不安を吹き飛ばすかのようにどんどんと作業を進め、素晴らしい作品をつくってくれました。

そして、音楽祭。クラスでは指揮、伴奏担当の生徒が仕切り、当日の発表に向け一生懸命練習していました。私のクラスだけでなく、学校中のあらゆる場所から大きな声で練習する歌声が聞こえました。2年生は1組が優勝しましたが、どのクラスも本当によかったと思います。本番の発表のために一生懸命取り組む姿、その過程を見ていると、とてもうれしい気持ちになりました。皆さん自身も得られたものは大きいと思います。



私は高校生のとき、学校が好きでした。文化祭も体育祭もとても楽しかった思い出があります。今振り返ってもその日の出来事は、はっきりと覚えています。そんな自分の高校時代を思い出しながら、文化祭や音楽祭に向けて頑張る皆さんの姿を見ていました。教員としての立場で、大人になった今、ふと考えて、私はこう思いました。皆さんはきっと、こういう行事を通じて今しかできない大切な勉強をしているのだと。限られた時間や予算の中でやりくりしながら、周りの人と協力する楽しさやしんどさを体験すること。なにかを作り出す大変さを知ること。1クラス約40人の集団になると、なかなか意見が言いづらかったり、まとまらなかったり…。でもそんな中から責任感を持ってクラスのためにいろいろ考えてくれる人や面倒な仕事でも率先して引き受けてくれる人が出てきたり、仕切っ

てくれる人が出てきたり。社会に出るとその一つひとつの経験がとても役に立ってきます。主体的になって取り組めば取り組むほど、満足のいくものができればうれしいし、入賞できなかったら悔しいと思います。でもこれらは全て貴重な体験です。高校時代に頑張った経験はいつか、あらゆる場面で大人になった自分を支えてくれます。そういう意味で成長するためにも学校生活の一日一日はとても大事です。「今すべきこと」と「今しかできないこと」を考えて、残りの学校生活や行事も頑張ってもらいたいと思います。

もうすぐ中間考査がありますが、それが終わると、いよいよ修学旅行です。修学旅行は1回きりです。来年はありません。思いっきり楽しんで、今しかできない経験をしてほしいものです。

9期生3組担任 金塚 健介

～秋桜祭が行われました！～

秋桜祭第1部・文化祭が9月3日（土）に本校で、第2部・音楽祭が9月9日（金）に千里金蘭大学の佐藤記念講堂をお借りして行われました。

今年の文化祭では飲食模擬店の規制が緩和され、今までできなかったことに挑戦したクラスや、限られた空間をうまく活用して楽しませてくれたクラスなど、各クラスの雰囲気を感じるこ



できた文化祭でした。垂れ幕も昨年からさらにレベルアップしたものが並びました。

音楽祭では、3学年のトップバッターとして堂々とした合唱を聞くことができました。最近の曲から一昔前のものまでレパートリーが豊富で、昨年以上にハーモニーの整った歌はとても素晴らしかったです。

今から、来年の秋桜祭が楽しみです！！

～10月の主な予定～

10月1日（土）：ONE DAY TRIP

5日（水）：考査一週間前

6日（木）：後期生徒会役員選挙

11日（火）：午後カット（火 1256）

12日（水）：2学期中間考査（～18日）

20日（木）：スタディ・サポート返却

21日（金）：10周年記念行事

2限授業（火 56）

22日（土）：保護者進路説明会

11月1日（火）：保護者懇談（～2日）

